

新潟県中越地震復興支援ニュース（第1号）

平成16年10月24日

総務省消防庁

総務省消防庁では、新潟県中越地震に伴う復興支援の状況について、地方自治体の支援情報をお知らせをさせていただくことにいたしました。是非、皆様からも色々な情報をいただければ幸いです。

< 10月24日の状況 >

群馬県から、いち早い支援

新潟県と災害時の相互応援協定を結んでいて、一部の市町村に車の入れる群馬県からは、いち早く食料と飲料水の支援が行われました。なお、支援の行われた中魚沼郡川西町、中里町は、新潟市からの輸送が困難で、群馬県側からの輸送が可能市町村です。

・ **提供市町村** 新潟県中魚沼郡川西町、中里町

・ 提供物資

川西町 アルファ米 677箱×50食 = 33,850食
水(1.5リットルペットボトル)×3,000本

中里町 アルファ米 75箱×50食 = 3,750食

・ 輸送手段

群馬県トラック協会のトラック5～6台に協力してもらった。

消防庁、関係都県に支援を口頭で要請

消防庁では、新潟県と災害時の相互応援協定を結んでおられる北海道・東北知事会の道県、群馬県、長野県、富山県、石川県に対して、新潟県が食料の確保に苦労しておられるので、新潟県から要請があった場合には、応援の要請に応じて頂けるかと意向を確認させていただきました。

いずれの道県からも正式な要請があればすぐに要請に応じる考えがあるという意向が示されました。

また、東京都は直接来庁されて支援の意向が示されました。

消防庁、全国知事会に支援を口頭で要請

全国知事会に、知事会としての応援して頂けないかと口頭で要請しました。

全国知事会からは、北海道・東北知事会が、8道県での相互応援協定に基づき「当面25日の朝食5万食分をブロックで分担して送る。長岡市に飲料水、野菜をトラック便で送付した。」という連絡をいただきました。

国の関係省庁検討会議開催

国では、24日午後、関係省庁で検討会議を開催し、

- ・農林水産省の災害対策用乾パン・乾燥米飯9万2千食を、自衛隊航空機を使って、松島、入間、小牧基地から新潟空港を經由して越路町まで空輸すること
- ・自衛隊の保有食料（缶詰、レトルト）のうち、2万5千食分を24日中、1万5千食を25日朝までに、さらに25日以降、20万食を新潟空港等に運ぶことを決めました。

流通業界や製パン業界が支援

経済産業省及び農水省からの情報では、イオンが「おにぎり」21万個（うち24日中に9千個、25日中に12万個）、パン工業界では山崎製パンが「パン」4万個、フジパンが「パン」3万個（ともに明日中）を被災地に提供するとともに、イトーヨーカドー堂・セブンイレブン、ダイエー、サークルK、ローソンなどが具体的な支援を進めておられるとのことです。

連絡先	防災課震災対策係
	震災対策専門官 植田
	事務官 森高
電話	03 - 5253 - 7525
FAX	03 - 5253 - 7535
E-mail	ueda-t[@fdma.go.jp]
	moritaka-k[@fdma.go.jp]